

第3学年「音楽」学習指導案

授業者 町田 直樹

2月21日（金）4階アセンブリ 10:00～10:40 話し合い10:55～11:45

1 題材名 音を聴きあって

2 題材について

3年連続で関わっている第3学年の子どもたち。入学当初からからだを意識した活動を多く設定してきた。低学年らしい姿から、中学年の姿に変化するとともに、活動に対する思考も成長してきたように捉えている。低学年ではわらべうたあそびを中心とした題材設定が多く、あそびを通しての音楽的な学びや生活の学びが見られた。

第3学年の子どもたちは、とても元気で、個人のパワーを感じる場面が音楽の授業に限らず多くみられる。他者への意識をもう少し育つといいなと感じることもある。日頃の授業をはじめ、音楽の時間でも、聴くという事を意識した活動を継続してきた。友だちの歌声をはじめ、様々な音に意識して耳をかたむけ、自分なりの感じ方で向き合ってもらいたいと願う。

3年生になり、ソプラノリコーダーの学習が始まった。初めて手にしたときの表情は、ずっと待ち焦がれていたものと出会えたときのような表情をしていた。導入当初は、あそびながら学べることを意識した展開を心がけた。例えば、頭部管だけでも様々な表現ができる。「お化けみたい!」「汽笛みたい!」「動物の鳴き声に聞こえる!」など、一人ひとりの感じ方は多様であった。このような姿は、これから、音・音楽を聴くという行為の素地となるであろう。楽曲への出会わせ方にも留意した。一音だけで演奏できる曲から始め、徐々に使われている音を増やし、現在は左手のみ（ソラシドレ）で演奏できる楽曲のレパートリーも増えてきた。自分の息がそのまま音へと変わる楽器との出会いから見えた姿のひとつとして、自分の息に意識を持つようになったと捉えている。また、自分の出す音に着目するようになっただけでなく、友だちが出す音にも意識が向くようになったと言える姿が多くなった。本題材でも互いの音をよく聴きあう営みの中で、自分自身の音楽するからだを育んでほしいと願っている。

3 学習指導計画（3学期：12時間目／全16時間）

1時間目・・16時間目

【常時活動】歌集から選んで歌う（1グループずつ） 箏・大太鼓・お囃子など既習事項の反復 他

ソプラノリコーダー（主な既習曲）

笛星人 またあそぼ・メリーさんの羊・聖者の行進・喜びの歌の一部
ミッキーマウスマーチ・ジングルベル・冬の夜

4 本時の学習について

(1) 本時のねらい

- ・声や音をよく聴きあいながら、楽しんで活動する。

(2) 予想される本時の展開

主な学習活動と子どもの姿	留意点
○自分で選んだ曲をみんなで歌う（1グループ4人） ・リズムに乗る ・元気よく歌う ・好きだな、嫌いだな ・本をよく見る ・見ない ・替え歌したいな	安心して心地よい空間 姿勢や言葉（歌詞など）を意識させる
○声を合わせて楽しむ（カノン・ドローンなど） ・自分の音をさがす ・よく見る ・友だちのまねをする ・拍を感じる ・もっとおもしろくしたい ・むずかしい	聴いてまねをすることも大切である 子どもの態度や表情
○リコーダーを演奏する ・この曲好き ・練習したい ・ずれてしまう ・息があう	運指や姿勢 息を意識させる グループの様子を見る
○音あそび	

□授業後の話し合いで話題にしたいこと

これからの小学校音楽科教育のあるべく姿を語りあいたい。